

# 平成 24 年度行政評価の実施による効果と今後の課題等【概要】

## 行政評価の実施による効果（1～2 頁参照）

事務事業評価（事後評価）対象事業数  568 事業 (38 事業)	クロス分析等の結果、改革改善計画の作成対象とした事業	改革改善対象事業		行政評価の結果を踏まえ事業内容の見直しをした結果、事業費を削減した事業【H24 と H25 当初予算の比較】			
			対応等	事業数	事業数	削減額	計
		113 事業 (34 事業)	現状維持	8 事業 (1 事業)	6 事業( 2 ) (2 事業)	520 万円	520 万円
	検討・見直し	105 事業( 1 ) (33 事業)	0 事業 (0 事業)	0 万円			
	平成 24 年度で終了	0 事業 (0 事業)					

( ) 内：平成 24 年度外部評価対象事業

改革改善対象事業には、法令の改廃や事業終期の到来等に伴う事業費の当然減によるものは含まない。  
効果の算定対象には、事業の見直しによる人件費の削減分は含まない。

- 1 検討・見直し（105 事業）の例（詳細は報告書の巻末参考資料参照）
  - ・資源物分別収集事業における収集区割り・収集ルートの見直しによる収集体制の効率化
  - ・下水道の受益者負担金・使用料徴収業務費（受益者負担金業務部分）における徴収吏員配置による徴収業務の強化 等
- 2 行政評価の結果を踏まえ事業内容の見直しをした結果、事業費を削減した事業(6 事業)
  - ・日常生活支援事業における事業内容の見直しによる削減（高齢介護課）
  - ・機能訓練事業における委託内容の見直しによる削減（市民健康課）
  - ・道路台帳整備事業における事業内容の見直しによる削減（道路総務課）
  - ・住宅融資事業における事業内容の見直しによる削減（建築住宅課）
  - ・社会教育委員運営事業及び公民館運営審議会運営事業の整理統合による削減（生涯学習課）

## 今後の課題（3～7 頁参照）

項目	課題の概要
1 評価の質的向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内部評価の客観性の向上</li> <li>・ 市民へのわかりやすい説明の推進</li> </ul>
2 外部評価について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部評価の今後のあり方</li> <li>・ 対象事業の複合・一括化等</li> </ul>
3 評価後の取組について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価結果を踏まえた改革改善の徹底</li> </ul>